

令和2年度

№5 9月9日

# 松 籾



発行者

穴水秀人

## 押忍！！の精神で

校長室から窓の外を見ると、学園祭に向けて精一杯取り組んでいる生徒たちの姿が見られます。新型コロナ対策として、種目を入れ替えたり実施内容を変更したり、例年とは少し様子が違いますが、思い出に残る素晴らしい学園祭にしたい気持ちはいつもと変わりません。八田中学校名物の「応援合戦」においても例外ではなく、生徒同士の距離を保つため隊形を工夫し、一糸乱れぬ所作を目指し、熱気のこもった練習を積み重ねています。今年度は、系列色が2色（赤と青）となりましたが、3年生を中心によく頑張っています。

この応援合戦の中で、度々発する言葉に「押忍」というものがあります。普段の生活の中ではあまり使わない言葉ですが、いったいどのような意味があるのでしょうか。その由来や意味を伝えたいと思います。

## お互いの挨拶から始まった

「押忍」は、主に空手道、柔道、剣道などの武道に携わる関係者の間で使われる挨拶の一つです。実は、私も大学時代空手道を多少たしなんでいたもので、練習中では頻繁に使っていました。元々は「おはようございます」だったものが、「おはよーっす」⇒「おわーす」⇒「おす」と縮まっていったのではないかとされています。本来は、先輩が後輩に対して挨拶するときだけ使われていたようですが、現在は、後輩が先輩に返礼する際にも使われているようです。

## 願いを込めて

「おす」に漢字をあてると「押忍」と書きますが、どのような意味があるのでしょうか。当て字のような気もするし、諸説あると思いますが、以下の説明は、私が空手道部に入部した際に、先輩から聞いた話です。

「押して」「忍ぶ」まず、いったい何を押すのか、それは仲間（チームメイト）の背中を押すのです。また、忍ぶとは「耐える、我慢する」という意味です。総合して「押忍」の意味を考えると、「仲間に『頑張れ！！』と後ろから背中を押し続ける」という意味になります。仲間を信じて応援し、応援されている選手もチームのために精一杯頑張りたいという願いをこの「押忍」という言葉に込められているのだと思います。

八田中学校の応援合戦は、開校以来ずっと受け継がれているものです。所作は当然のことながら、「押忍」に込める思いを伝え続けることが、それ以上に大切なのだと思います。

本番まで残り3日となりました。日中の暑さは相変わらずで、新型コロナのみならず、熱中症に対しても注意しなければなりません。でも、この暑さに負けず、仲間を信じ、仲間とともに、かけがえのない思い出を創って欲しいと願っています。